

あなたの今の状況について
あてはまるところ（学生・就職者・
その他のいずれか）に記入してく
ださい。

(2 ページ目)

4 奨学金給付事業

(1) 年間学費 (減額前)

授業料	1,000,000円
施設・設備費等 (授業料以外の学納金合計)	500,000円
小計	1,500,000円
教材費	7,500円
オンライン授業受講目的によるパソコン購入代金	125,000円
通学交通費 (6か月通学定期×2回分)	24,000円
小計	156,500円
総計	1,656,500円

(2) 利用する又は利用している減免制度及び給付金・奨学金制度等※

※学費への充当を目的とし、返済を必要としない国、民間団体、各大学等の給付

大学等の減免制度名 給付金・奨学金制度名	形態 (減免・給付) 該当する項目に○	金額
日本学生支援機構	減免・給付	700,000円
その他 (西脇基金)	減免・給付	240,000円
その他 ()	減免・給付	円

使い道が「学費」に制限されていない奨学金は記入不要です。

(3) 過去に世田谷区児童養護施設退所者等奨学金給付事業の交付を受けたことの有無

※ 該当の□にチェックをつけ、ありの場合は交付を受けた年度を全て記載

☒ あり (6年度、 年度、 年度、 年度、 年度)
☐ なし

複数の資格を受ける場合は
すべて記入してください。

5 資格等取得支援事業

資格の種類・名称	☐ 普通自動車第一種免許 ☐ 高等学校卒業程度 ☒ その他資格 (英検2級)
取得予定日	令和7年 10月 25日
取得費用	8,400円
申請理由 *いつどのような職業に就くのか、どうしてこの資格が必要なのか、などを具体的に記述すること。	(例) 英文学科に通っており、海外への長期留学の候補生には英検2級が必須であるため。
当該資格等取得にかかる民間団体等の補助等の有無	☒ なし ☐ あり ※ありの場合は以下も記入すること 補助等団体名称： 補助金等名称： 補助金額：

複数の資格を受ける場合は
いちばん遅い取得予定日を
記入してください。

複数の資格を受ける場合は
すべての資格の合計額を
記入してください。

取得した資格等を生かしてどのような仕事をしたいかや、就職活動の状況などを書いてください。
学生の方は、なぜその資格が必要なのかを書いてください。

(3 ページ目)

6 家賃支援事業

住宅の種別 ※該当の□にチェック	☒ 賃貸アパート・マンション等 ☐ 学生寮・社員寮 ☐ その他 ()	☐ シェアハウス ☐ 親族の住宅
居住に係る費用 (自己負担額)	住宅賃料 ※管理費・共益費除く 民間賃貸住宅保証料 (初年度) ※申請しない場合は記入不要	月額 65,000 円
同居人の有無	☒ なし ☐ あり (申請者との関係)	
居住にかかる民間 団体等の補助等の 有無 *就労先からの補助等につ いても記入すること。	☒ なし ☐ あり ※ありの場合は以下も記入すること 補助等団体名称： 補助金等名称： 補助金額：	

アパートを更新する際の保証料は対象外です。(初回契約は対象)

勤務先から住宅手当が出ている場合 (給与天引きされている場合を含む) は、補助等「あり」です。

7 医療費支援事業

(1) 医療機関等の受診に係る費用

受診等に係る費用 (自己負担額)	1,600 円
---------------------	---------

(2) 公費負担医療制度の利用の有無

☒ なし ☐ あり (利用中の制度)

(公費負担医療制度とは)

制度ごとに定められた障害や病気の治療法を対象として、医療費の全額又は一部を国、地方自治体の公費で負担する制度 (例：自立支援医療制度)

医療機関の受診料、処方せん料、交通費など、申請する費用すべての合計額を記入してください。

(4 ページ目)

8 添付書類

(1) 世田谷区児童養護施設退所者等奨学金等交付申請者推薦書又は意見書

*以下の書類は、18歳以降に施設等を退所した人は不要

(2) 直近3か月程度の金銭取引の状況が確認できるもの（世田谷区児童相談所、世田谷区子ども家庭支援センター、その他支援機関による支援を現在受けている場合は除く）

(3) 現在抱えている困難な状況に応じて、以下の書類を添付すること。

(ア) 収入状況 住民票及び住民税課税証明書、住民税決定（納税）通知書
又は特別区民税・都民税税額決定通知書

(イ) 健康状況 医師の診断書又は診察日及び診療日が確認できる医療費の
領収書の写し又は診療明細書の写し

(ウ) その他 区長が認める書類

◆提出書類の閲覧に関する同意（※ 世田谷区在住の方のみ。同意しない場合は記入不要）

世田谷区長 殿

区が世田谷区児童養護施設退所者等奨学・自立支援基金事業の申請における収入状況の確認のため、必要に応じて区の保有する個人情報を利用し、官公署等関係機関に対して住民税課税証明書等の取得及び住民税の課税状況等について照会することに同意します。

令和7年 9月30日

氏名 世田谷 太郎

【申請する事業ごとに必要

種別	
奨学金給付事業	(1) 入学計 (2) 奨学金 き費用 等)
資格等取得支援事業	(1) 対象経 とがで (2) 支払い (3) 在学を
家賃支援事業	(1) 居住に コピー) (2) 保証会社との契約内容が確認できる書類 ※賃貸借契約書に併記されていない場合のみ（例：保証契約書） (3) 在学を証明する書類（進学者のみ）
医療費支援事業	(1) 医療機関の受診に要する経費の支払金額が確認できる書類（例：医療 機関の診療費請求書兼領収書のコピー） (2) 在学を証明する書類（進学者のみ） (3) 公費負担医療制度を利用していることが確認できる書類 ※公費負担医療制度を利用している場合のみ（例：受給者証のコピー）

※その他、申請にあたって参考となる書類

あなたの今年の世田谷区における課税状況等について、区担当が、区の保有する情報をもとに確認することに同意していただける場合は、日付と名前を記入してください。その場合、「8 添付書類（3）（ア）」の書類は省略できます。

なお住民税は今年の1月1日時点で住民票が置かれていた自治体で課税されるため、1月2日以降に世田谷区に引っ越してきた方は、お手数ですが必要書類のご提出をお願いします。